

## 全地球史アトラス

### 11. 人類代～人類誕生と文明の構築

#### 霊長類の進化

アフリカのリフトバレーでは爆発的な火山活動が起こり、  
放射性元素に富んだマグマが噴出  
これにより、旧世界ザルから新種が誕生した  
これが人類の遠い祖先だと考えられている

#### 第4の生物、人類の誕生:人類代

地球が誕生してから約45億年  
幾度も訪れた大きな環境変動  
数えきれないほどの生と死の繰り返し…  
そしてようやく、人は産声をあげた  
人類代のはじまりである  
人と他の霊長類を分けたのは、HARと呼ばれるDNAの中の遺伝子領域だ  
これによって人は法を巨大化させて言語能力を手に入れ、  
思考、意識、記憶、創造性などを会得していった  
脳の容積は3回に渡って不連続に巨大化しているのがわかる  
そのタイミングで大規模な噴火が起こっていることから、  
これがHiRマグマによる茎進化の結果であることを示している  
約120万年前から断続的に人は他の地域へ進出  
特に約20万年前に脱アフリカに成功した人類を『ミトコンドリアイブ』と呼ぶ  
『ミトコンドリアイブ』は1万5千年前には北米や中米に向かい、  
1万年前には南米大陸の南端まで達し、全世界に広がっていった  
そして人類文明の画期的な進歩が始まる

※以下省略